

事務事業 No./名称	□サービス部門 ■支援部門 総務-06 統計調査事務				タイムスコード及び個別事業名			
					596	統計調査事業		
主管課	総務課		関連課					
分野名	行財政運営							
目標 (目標値)	円滑な統計調査実施のため、登録統計調査員の確保と資質の向上を図る。 登録統計調査員事務研究会出席率 100%							
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考				
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯					
運営資源 状況	決算値	2,287千円	2,171千円					
	(国・県)			指標と評価				
	(負担金等)	34千円	47千円	指標	登録統計調査員事務研究会参加人数			
	(一般財源)	2,253千円	2,124千円	評価	△			
	人員配置数	0.4人	0.4人	◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退				
	人件費	3,667千円	3,619千円		目標値	実績値		
	協働の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費	5,954千円	5,790千円	20年度	60人	18人		
	市民1人当 りの経費	34円	33円	21年度	60人	19人		
	対象者1人 当りの経費			22年度	60人			
				23年度	60人			
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名							
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 登録統計調査員が減少傾向にある。 調査員の資質の向上を図るために実施する事務研究会については、出席率が低水準のまま横ばい 状況にある。						
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 各種統計調査経験者に対し登録の意思を確認し、登録調査員の増員を図った。 事務研究会については、できるだけ多くの登録統計調査員が出席するように、開催時期や講演の テーマについて検討するとともに、登録統計調査員に対してアンケート調査を実施した。						
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 登録統計調査員の減少を食い止めることができなかった。 事務研究会については、登録統計調査員に対して実施したアンケート調査の分析が年度内に終了で きなかった。						
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 登録統計調査員の増員については、今年度の国勢調査実施後に調査員の中から優秀なものを選考 し登録したい。 事務研究会の参加人数の向上については、前年度の事務研究会において実施したアンケート調査を 分析し、参加者のニーズに合った事務研究会に改善していきたい。						
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)				
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性	統計調査の円滑な実施のために今 後も登録統計調査員の確保を図ると ともに、多くの調査員が参加する事務 研究会に改善していく。			評価結果	改善の必要性	登録統計調査員の資質向上のた め、事務研究会の実施など様々な 施策を今後も講じる。	
B	有				B	有		
課長名		内藤 昭二		部名・部長名		総務部・小村 亮一		